

## アベノミクス～政府予算～イノベーション

### アベノミクスの現状

総選挙を与党圧勝で終えた安倍首相はアベノミクスに自信を持っておられるようだが、此処にきてエコノミストの意見が分かれてきたというか、失敗だったとするエコノミストが増えてきたようです。いつものことではありますが、マスコミによく顔を出すエコノミストや政治評論家の変節振りには驚かされます。

アベノミクスは「デフレからの脱却し、日本経済を成長軌道に乗せる」経済戦略ですが、早くも3年目を迎えています。ザックリと、3本の矢を総括すると次のようなところではないでしょうか。

「第1の矢」である大胆な金融緩和は円安・株高を実現しました。円安は輸出大手企業の業績を向上させ、株高は投資家の資産を拡大させるなど、限定的な効果はあり、今後、その効果が中小企業や一般家庭に普及することが期待されています。

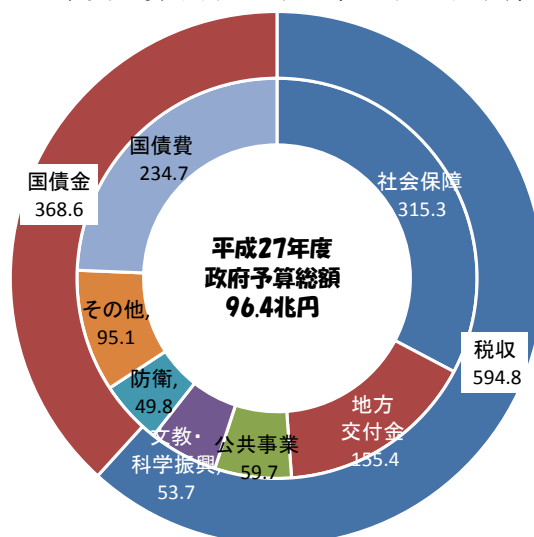
「第2の矢」の機動的な財政運営は、現場の人手が足りず、資材の高騰もあったが、景気の下支えに一定の効果を発揮しました。

「第3の矢」成長戦略は「道半ば」というところでしょう。

成長戦略は、国家戦略特区、法人税減税、TPP、エネルギー、雇用、農業、医療等多岐にわたります。規制緩和は、政治への影響力の強い既得権益層が存在するなど、実行にはなお時間を必要としています。

### 平成27年度予算について

図表 平成27年度予算(外円：収入、内円：支出、単位：千億円)



1月14日、予算政府案が確定しました。増税・痛み先送りの予算ですが、財政均衡に向けてほんの少し歩を進めた感があります。普通に考えれば、財政均衡化には「入るを量って、出を制す」か「入るを増やして、出を減らす」しか対策は無いと言えます。歳出項目

を見ると、どれも大きく支出を減らすことは難しいことから、収入を税収増で増やさなければならぬと思われま

## **だから、イノベーション！**

税収を増やすには、どうすれば良いか、叶わぬ時の神頼み、イノベーションでしょう。企業人が心配するほど、リスクは無いと思われま。先を見すぎた製品、サービスは売れま。ちょっと先のイノベーションで良いのです。需要よりも生産能力が過剰だからデフレになっています。設備は余剰であり、大きな投資は必要としないでしょう。既存の技術の組み合わせ、先鋭化等でもイノベーションは可能で。国民一人一人が、スティーブ・ジョブズのような成功例を目指しま

国民は預金を持っています。買いたい商品が無いから、使わずに預金しているのです。今、意識改革が求められています。明治維新も戦後の復興もやり遂げたように、日本人がその気になれば不可能はないと信じてイノベーションに取り組みま

最近、流行りの日本人礼賛のテレビ番組を飽きるほど見て、やっぱり、日本は、日本人はすごいと確信して、夫々の立場で取り組みま